

令和5年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：25509

学校名：平岡小学校

改訂のポイント

- 基礎学力の向上を目指し、習熟の時間を効果的に設けていく。(朝学習の定着)
- 学習に対して自分事として取り組み、意欲的に課題解決に取り組む姿を目指す
- 自分の考えを深めたり広めたりすることで、多角的に物事を考え、自己の学びを高めていく姿を目指す。

項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	<ul style="list-style-type: none"> ☆知りたい気持ちを持ち、真剣に考える子ども。 ☆比較しながら聞き、自ら考えを発信する子ども。 ☆自らの考えを見つめ直し、考えを変化させたり、新たな考えに気付いたりする子ども。 		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	【昨年度の具体的な取組】 ○やってみたい！できそう！を引き出す学習展開や教材の工夫。	【成果】 ⇒「教材との出会わせ方」や「学習展開の工夫」により、子どもたちの学習に対する意欲が高まった。 ⇒「学びのゴール」を提示することにより、課題を自分事として捉える子が増えた。	【課題】 ◇教師が「本時間の学びの意図」を明確にもち、授業構成を行い、より主体的な姿へとつなげ、学ぶ意欲を持続させること。
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 ○生活経験や既習事項を活用し、学びがいを実感させ、その良さに浸らせる。 ○一人一人の考えの良さや伸びを見取る。	【成果】 ⇒子どもの考えを板書の中で価値付し、学習の足跡を整理、その視覚化に心掛けた。 ⇒学びの深まりをねらい、切り返しや揺さぶりの発問の効果的なタイミングを図ることができた。	【課題】 ◇考えを深めるための、活動量の保証。また、状況に合った交流活動のさらなる追究。 ◇学びを実感させるための、教師による見取りと子どもに向けた評価のフィードバック。
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 ○目的・課題を明確にした家庭学習への取組。 ○「朝の学習時間」を活用した確かな学力の定着。 ○どの子にも「わかりやすい」ワークシートや掲示物の精選、吟味。	【成果】 ⇒家庭学習の目的を明確にし、自分で考え、自分で取り組むことができる子を目指す姿とし、家庭と学校で共通理解に立った家庭学習や宿題の取組ができたこと。 ⇒「朝の学習時間」に取り組むことで、学びの積み上げを実感させることができたこと。	【課題】 ◇学校と家庭がそれぞれ担う役割、子どもに身に付けさせたい力を明確にし、学校説明会・懇談会・学校・学年便り等で保護者と共有し、連携を深めること。 ◇「朝学習」の内容の精選、吟味。
今年度の具体的な改善策(取組)	取組の最重点	【取組の共有】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 子ども一人一人に学ぶ意欲が生まれる教材化の工夫と、学び合いを生む教師の関わり </div>		
	具体的な改善策(取組)	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが興味・関心や意欲を持ち、自分から問いに向かい追求する姿を生み出す教材化。 ○「何を」、「どのように」学び、「なにが身に付くか」学習のねらいと意図を明確にした授業づくり。 ○「できなかったことができるように」「わからなかったことが分かるようになるための、発達段階やタイミングを図った教師の関わり。 ○板書やICT機器を活用し、子供の考えを位置付け、視覚化・構造化することで学び合いを活性化する。 ○体験的な活動、外部講師、専門家(物・人・自然)を活用した授業。 ○子どもたちがお互いを認め合い、高め合う学習集団(「聞く・聴く・訊く」集団)づくり。 		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○各教科等の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用(日常のテストやノート、観察等) ○全国学力・学習状況調査や学校独自の調査結果等を活用 ○札幌市全体の共通指標(子どもの自己評価)の活用 ICTの活用に係るアンケートの具体的な活用方法 		